



アデノウイルス感染症と 咽頭結膜熱（プール熱）

夏かぜ症候群と呼ばれるものの代表は手足口病、ヘルパンギーナ、そしてプール熱です。夏かぜ症候群は真夏だけに多いのではなく、だいたい5月～6月頃には増えはじめます。

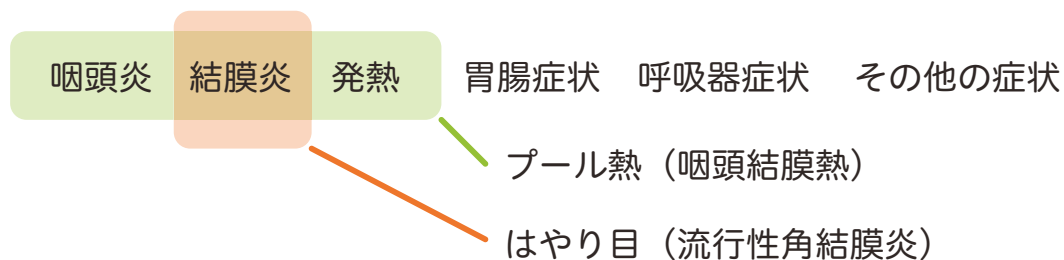
プール熱の正式な名称は「咽頭結膜熱」といいます。原因はアデノウイルスです。以前はプールに入ってうつったのでプール熱と言われましたが、最近ではプールの塩素濃度が高いので、学校やスイミングスクールのプールでうつるような病気ではありません。また、プールに入らなくてもうつることがあります。



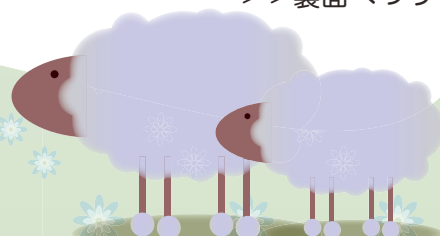
アデノウイルス感染症でみられる症状

① 咽頭炎	のどが赤くなり、痛みが強いです。扁桃腺も赤くなり、白いもの（膿）がついたりします。よだれが出たり、食欲が落ちたりもします。
② 結膜炎・角結膜炎	目が赤くなり、目やにや涙が出ることもあります。
③ 発熱	39～40℃の高熱が4～5日続きます。1週間以上続くお子さんもいます。
④ 胃腸症状	吐き気や下痢、腹痛などが起こることがあります。
⑤ 呼吸器症状	咳が出たり、ひどい場合にはゼーゼーしたり、気管支炎や肺炎を起こすこともあります。
⑥ その他	血尿などの膀胱炎症状や肝炎などを起こす場合もありますが、まれです。

アデノウイルスは様々な症状を起こしますが、すべての症状がそろうわけではありません。咽頭炎・結膜炎・発熱の症状がみられたものをプール熱（咽頭結膜熱）と呼び、目の症状のみであればはやり目（流行性角結膜炎）と呼びます。



>> 裏面へつづく





アデノウイルス感染症と 咽頭結膜熱（プール熱）



アデノウイルス感染症の診断と治療

のどやまぶたの裏側を綿棒でこすり、迅速検査キットを使って診断することが多いですが、流行時には症状だけで診断することもあります。

アデノウイルスには抗生物質は効果がありません。症状を和らげるためのお薬で様子を見ることになります。

おうちでのケアと病状の経過

- おうちで大事なのは、水分をこまめにとって脱水にならないようにすることです。
- のどが痛くなることも多いので、食べ物や飲み物をとりにくくなりますが、プリンやゼリー、ヨーグルト、アイスなど口当たりのよいものを与えましょう。
- 熱は午前中に少し下がったと思っても、夕方くらいにはまたあがってくる場合があります。のどが痛くて水分がとれなかったりぐったりしている場合、咳や下痢がひどい場合はもう一度受診をしてください。
- おうちでは手洗いを十分におこないましょう。タオルの共用でうつることがあるので、一緒のタオルは使わないようにしましょう。
- アデノウイルスは感染力が強いので、熱がさがり、症状がよくなってから2日間は保育園・幼稚園や学校を休ませるようにしましょう。

2025年6月24日

自由が丘メディカルプラザ
院長 高嶋 能文
日本小児科学会小児科専門医
日本血液学会血液専門医

